

講義コード	25468026	
担当者	高 林 喜 久 生 教 授	
研究題目	財政のデータ分析	
研究内容	<p>財政というと堅苦しくてやや縁遠いものと思われるかもしれませんが、しかし、現代では、財政は私たちの生活の隅々にまで関わっています。税制改革、公的年金、医療、介護、教育、地方分権など財政学が扱うテーマは私たちと密接な関係があります。また、これらのテーマについて研究することは、日本経済を政府部門を通じるおカネの流れの観点から捉え直すことであり、それは「もう一つの日本経済論」でもあります。このゼミでは、財政が直面している諸問題についてデータ分析を行います。問題の所在とその解決の可能性を「データで押さえていく」ことをねらいとします。</p> <p>ゼミの運営</p> <p>研究演習入門、研究演習Ⅰを通じて、ゼミは次の3点を柱として進め、討論やプレゼンテーションの仕方を学んでいきます。</p> <p>第1の柱は、財政理論・財政制度の最小限の理解と基本文献のフォローです。これについては上記の個別テーマごとのグループ討論を中心に進めていきます。</p> <p>第2の柱は、財政の現状理解です。新聞記事や雑誌記事、インターネットを素材に最近の財政事情を知るとともに、財政や日本経済に関するデータの調べ方や見方・使い方について知識を深めてもらいます。</p> <p>第3の柱は、データ分析手法やプレゼンテーション手法の修得です。それにあたっては、Excel や PowerPoint、ホームページ作成などパソコン実習を中心に行います（初歩から指導しますのでパソコンについての予備知識は不要です）。とくに研Ⅰでは、サブゼミでパソコン実習を集中的に行います。</p> <p>研究演習Ⅱでは、各自が選択したテーマによる研究報告を中心として進めていきます。最終的にはそれを卒業論文としてまとめてもらいます。そして2年半の様々な活動成果（共同論文、卒業論文、写真、動画など）を収めたゼミの CD-ROM を作成します。以上のような作業を続けていくなかで、自らの眼と腕で財政や日本経済のデータ分析ができる力を身につけてもらいたいと思います。</p> <p>もちろん、ゼミ合宿やコンパ、工場見学、スポーツ、学内・学外との対抗ゼミなどについても全員参加の原則で積極的に行います。とりわけ、対抗ゼミは中心となる活動です。また、共同論文作成にも力を入れています。WEST（関西有志大学ゼミ研究論文発表会）にも積極的に参加していきます。</p> <p>このゼミを志望される方へ</p> <p>このゼミを第1志望にされる方は事務室で所定の志望理由書を受け取り、必要事項を記入の上、5月16日（金）までに事務室に提出して下さい。かりに定員を超えるようなことがあれば、その志望理由書と面接をもとに選考させていただきます。ともにゼミを作っていく意欲ある学生の参加を希望します。</p>	
	受け入れ条件	志望理由書の提出と面接の出席
担当者のプロフィール	専攻	財政学
	現在の研究テーマ	地域間格差と財政、政府間財政のデータ分析
	所属学会	日本財政学会、日本地方財政学会、進化経済学会、日本経済学会、景気循環学会、生活経済学会